

# 社会保障ワーキング・グループにおける「見える化」の更なる深化等に関する議論のまとめ(概要)

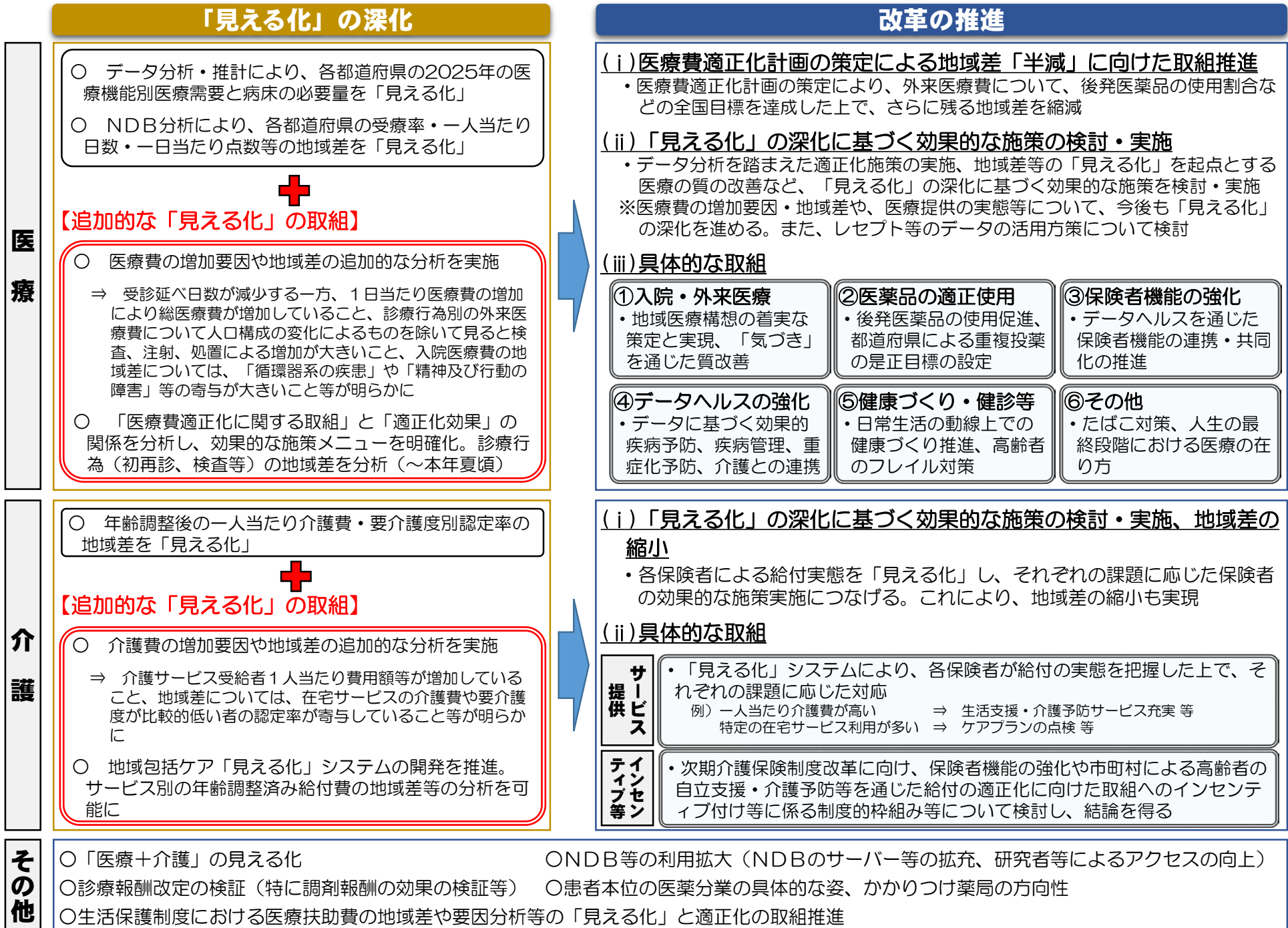
社会保障分野においては、負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化に係る改革項目を含め、「経済・財政再生計画」に掲げられた44の改革項目について、改革工程表に沿って着実に実行していく。社会保障WGにおいては、本年2月以降、改革工程表に基づく改革の推進に向け、「見える化」の深化を進めるとともに、そこから見えてくる今後の取組の在り方等について議論を行ってきた。その議論のとりまとめの概要は以下のとおり。

## 1. 実効的なPDCAサイクルの確立

○ 実効的なPDCAサイクルの確立に向け、社会保障分野の72個のKPIの定義や測定の考え方、初期値等を明確化

例) 地域医療構想の進捗管理(急性期等)	地域医療構想の2025年における医療機能別の必要病床数に対する各年度の病床数に基づき、進捗率を算出
「患者のための薬局ビジョン」に基づくKPI	服薬情報の一元的・継続的な管理の実施状況を効果的に把握できるよう、「薬剤師・薬局の体制」や「重複投薬防止の取組件数」、「重複投薬の件数」、「後発医薬品の使用割合」等の複数の項目を把握し、総合的に評価
データヘルスの効率的な推進	各保険者の行動変容につなげるための各指標(健康維持率等)の効果的な見せ方について本年6月目途に明確化
生活保護制度・生活困窮者自立支援制度に関するKPI	2016年度中に実施するKPIの再検討の際に必要なデータ項目(就労支援事業等に参加していない者の就労・求職活動等の状況、同事業等の参加者の就労・増収に向けたステップアップの状況等)を明確化

## 2. 「見える化」の更なる深化とワイズ・スペンディング



## 3. 潜在需要の顕在化

### (1) 民間の力も活用したデータヘルスの強化

○ 民間企業も活用した保険者によるデータヘルスを強力に推進することにより、  
(i) **医療費の適正化**、(ii) **国民のQOLの向上**、(iii) 健康長寿分野での**潜在需要の顕在化**(公的サービスの産業化)、(iv) 企業の**生産性向上**を実現

#### 【具体的施策】

- |   |  |  |                                  |
|---|--|--|----------------------------------|
| ① 保険者へのインセンティブ付けとして、重症化予防等を <b>保険者努力支援制度の指標</b> として設定 | ② 呉市等の好事例を強力に全国展開。その際、 <b>医療関係者との協力体制整備に県が積極的に関与する取組</b> を全国展開 | ③ 「 <b>データヘルス・予防サービス見本市</b> 」の全国展開による保険者と民間企業等のマッチング | ④ 中・小規模の保険者(健保組合)や国保保険者に対する支援の実施 |
|---|--|--|----------------------------------|

### (2) 健康予防関連サービス・生活関連サービスの充実

- 健康機器等を活用したデータヘルスにより健康寿命の延伸、QOLの向上を実現する環境整備等の検討
- 「保険外サービス活用ガイドブック」を活用し、民間主体を中心とした介護分野の生活関連サービスの利用を推進
- 薬局を地域における健康づくりに活用するため、電子版お薬手帳の活用による総合的な健康サポート機能の充実等を推進